

ツバケイラバー

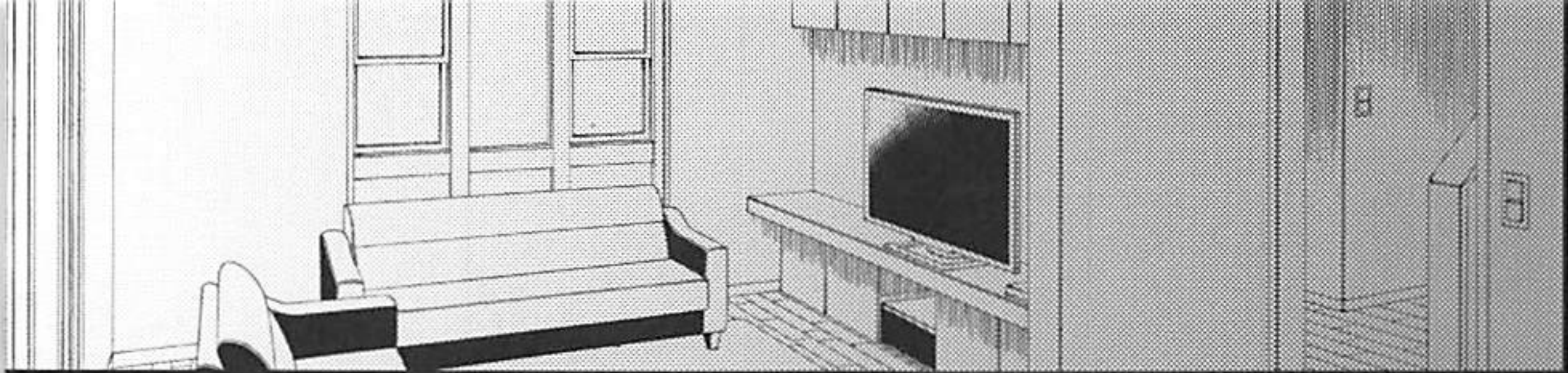




ツバケイラバー



ツバクリニブズー



「はあぁ…
どうしても
やってみらいたい
ことがあるからって
来てみれば…」

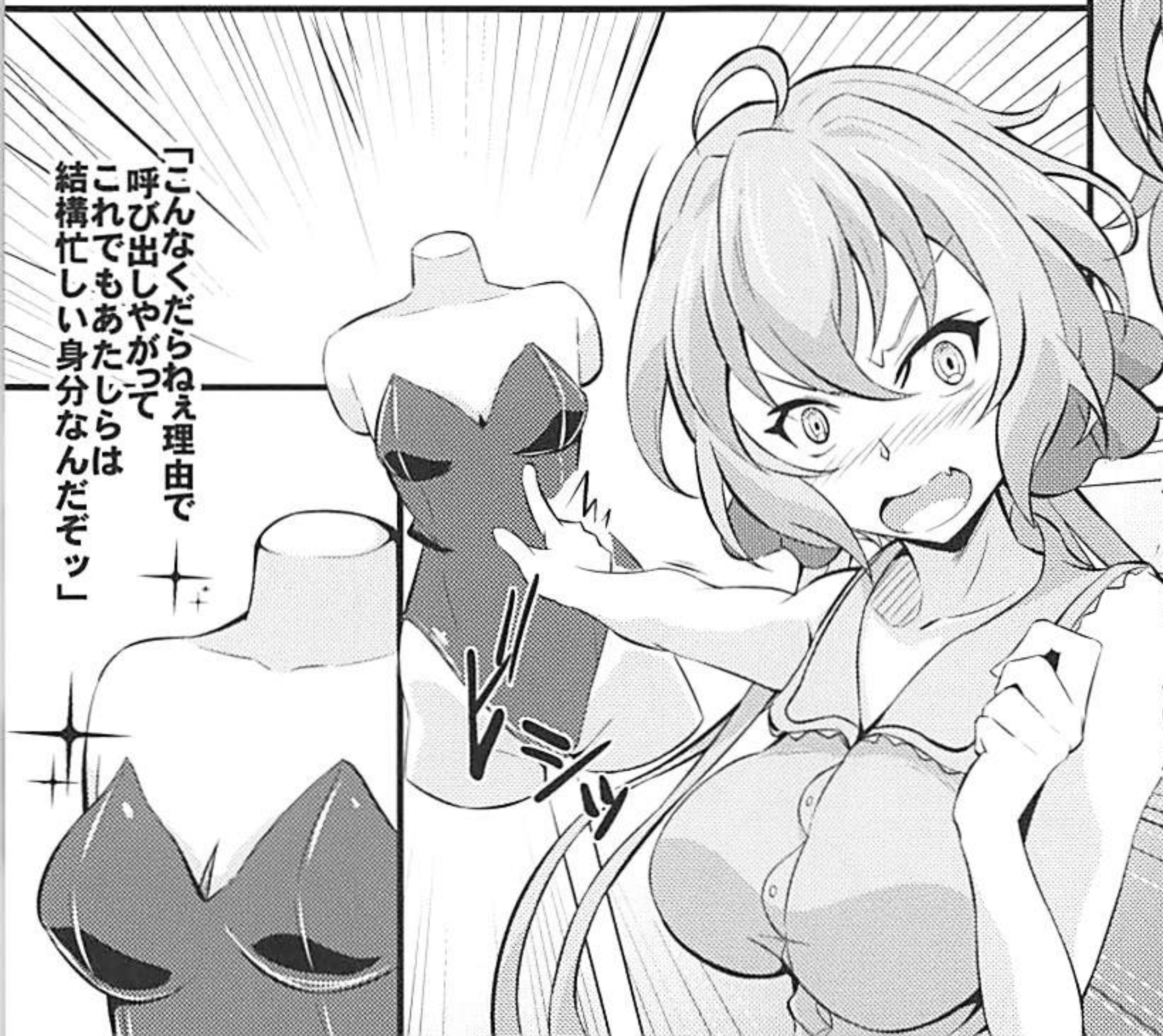
「先輩まで
呼び出しやがって…」

「私は雪音がどうしても
相談したいことがあるからと
彼から連絡を受けて来たんだが…」



「先輩だまくらかしてまで
「こにこに」に呼んだ理由が…
これを着ろってか!?!
な、ナメてんのかッ!」

「こんなくだらねえ理由で
呼び出しやがつて
これでもあたしらは
結構忙しい身分なんだぞッ」





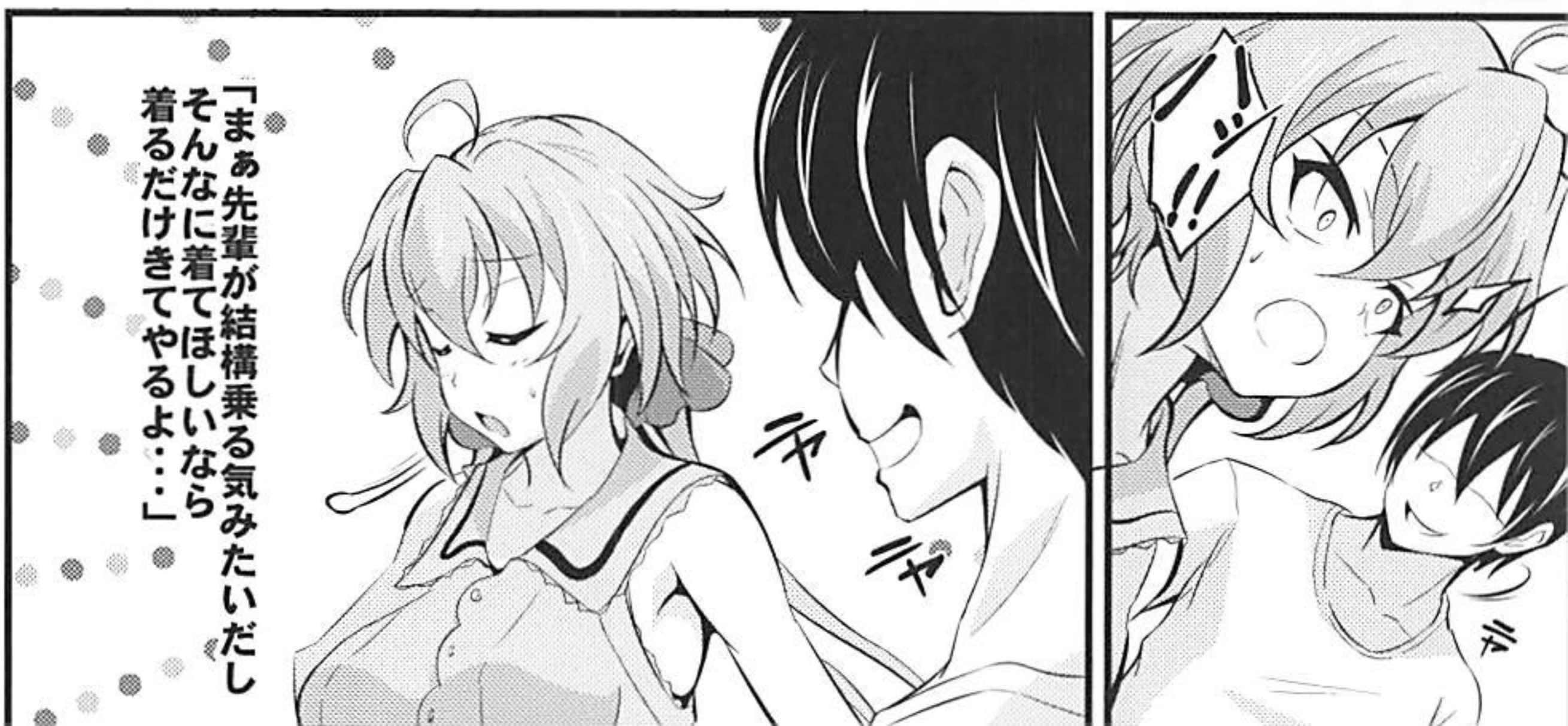
「おいおい土下座って…
とんだけ必死
なんだよお前は…」

「まあまあ…
せっつかく用意して
もらったんだ
着てみるだけ
でもいいん
じゃないか？」



「しかし、雪音ならともかく
わたしではこのようなか
衣装は似合わないのでは
ないか？
私だとすこし無理がある
だろう…」

（かっ
かわい…）



「まあ先輩が結構乗る気
みたいだし
そんなに着てほしいなら
着るだけきてやるよ…」



「うう…：…
確かに着るって言ったけど…
これ：ちよっと
サイズが小さすぎねえか？」

「へッ？…：…
やっぱよく似合ってるって…
お前ツ…：…
よくそんな都合のいい事が
ペラペラでてくるなッ」

「このスケベッ！
お前ってホントバカ♡」

ムッ

「やっぱり「じゅぽぽ」と
させたくてあたしら
呼んだのかよ……」

「一度でいいからバニーコスで
エッチしてみたかったって……
お前の頭には
それしかねえのかよッ」

わ
べ
か

わ
べ
か

「そんな煩惱まみれのやつは……
ごうだッ♡」

「ジゅポッ♡ジゅポポッ……
んほッ♡んほッ♡
どうだ？おまえ……うぐッ
これッ♡好きだったよな♡」

「節操なしチ○ポは……
んほッ♡さっさと……んほッ♡
精液はきだしちまえッ♡」

わ
べ
か

わ
べ
か

「ふえっ……もう射精するって……うわッッ！」

「ふえっ……もう射精するって……うわッッ！」

「まったくちよっとはやすぎじゃねーか？この日のためにオナ禁してたってどれだけ楽しみにじてたんだよお前はッ」



「まあ出ちまったのはしよーがねえーけどッ……」
「ドンッッ！！」
「急に押し倒されてなにそんなにビックリしてんだ？」

「ムッ」

「お前のきもちいいよくなってる顔見てたらあたしもその気になっちまったんだよ……あたしをヤル気にさせたからには満足するまで寝させねーからな♡」





「あんツ♡あああツ♡」
「おつき射精したばかりなのに…
…こんな固くして…アツ♡」

「ジツ…いい♡…チのポお♡
キチキチに反り返ったお前のチのポお♡
いいツ♡これツこれがほしかつたの♡」

ツツツツ

スツ
スツ
スツ

スツ
スツ
スツ

あッ

あッ

あッ

あッ



「なめてたときから・アッ♡
ずつと入れたかったんだッ
このオチ○ポツ♡:」

「お前の○ポでっけーチンポで
こっしで:んツ♡
マ○コいっぱいにされて
お前にすこい
抱かれたかったんだあ♡」



「ほらッ♡お前も
休んでないで:んツ♡
もつとじっぴかり腰動かせよッ」

「はあ♡:あッ♡
このチ○ポで膣肉こねくりまわして
子宮にいっぱいキスしてくれえ♡」

「ちゅっ♡ちゅっ♡んはあ♡
へっ!? エッチしながらの
キス好きかって?」

「そうかもな♡…キスしていると
こう…安心するっつうか
お前としっかりつながってるって
意識できるんだよな♡…
って…なに恥ずいこと語らせんだよっ」

「そんな誘導尋問野郎には…
こうだっ♡ん♡ん♡
んあッ♡…ちゅ♡ちゅ♡」

「ばっ急にっ♡…んっ♡
足掴んで…激しッ
甘えてきて興奮したって
バツ…そんなんじやッ♡アッ♡」





あぁ?

びび

「チ○ポビクビクしてきたあ♡
イクのかツ?あたしももう少しで
イキそうなんだツ♡いっしょよお♡
いっしょにイキたいの♡」

「だめだツ…そ…ツッお♡
Gスポットおツ♡いいツッ…♡
あツ♡ダメだツ♡
イクツ…
イクウウウ♡♡♡」



ゴブツ♡ゴブツ♡

「はぁ♡はぁ♡…
やっと出し終わったのかあ♡
こんなに大量に中出しして…
あたしを孕ませる気かよ♡」

はぁ♡

はぁ♡

『その…やっぱり変じゃないか？
コンサート衣装とか
は着慣れているのだが
こういったコスチュームを
着るのは初めてなんだ』

『しかし雪音のバニー姿を
見た後では私のバニーなど見ても
うれしくないだろ…
特に胸周りとか…』

『えっ…？ちゃんと似合ってる？
足とかすらっとして衣装映えるって
そうか…君に褒められたなら
わたしもこの衣装を着た
甲斐性があったというものだ』



ジロ♡ジロ♡
『どうだっちゃんど
気持ちよくできているか？
そうか♡…しかし
君のはいつみてもたくましいな♡
さっきまで雪音の中で
あんなに暴れていたのに♡』

『へっっ…わたしのバニー姿で
興奮してって…
まったく♡都合がいいな君は♡』



『口で奉仕するぐらいなら
わたしにもできるぞ♡
ジュブ♡ジュブププ♡』



『雪音みたいに胸でできないが…
ちゅ♡レロ♡レロ♡』



ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡
『んっ♡んぼ♡…♡どうだあ♡？
私だって君のオチ○ポを
気持ちよくするぐらい造作もないぞ
このまま手で射精させてあげる…♡』



ドサツ…
『なっ！…急にどうしたんだ？
えっ…もう我慢できない？
はやく挿入したいって…』

『まったく君は堪え性がないな♡
いいぞ♡君のそのたくましい剣で
私を貫いてくれ♡』



『アッ...ッ...アッ...
いいっ♡ふぁあぁあ
奥まで届いてるう♡』

『だめだッ♡いきなりそんな
んッ♡あぁあッ♡』

「はあ♡…はあ♡…
まったく♡…いきなり激しくするから
軽くイッてしまったではないか♡…
罰として私の頼みをひとつ聞いてくれないか？」

「その…キスしながら
わだいたしんだ雪音のように…
抱きたいも君に
したいんだらツ♡…だめか」

「んっ♡んあッ♡…
嬉しい♡…んちゅ♡…
君のオチ○ポにつかれながら…んっ♡
こうしてキスしてしていると…あッ♡んっ♡
まるで恋人同士みたいです♡高い高ぶるんだあ♡
もっとおもつとオチ○ポで
わたしをめちやくちやにしてくれえ♡」

グイッ！…ちゅ♡

グイッ♡

んっ♡

キス♡

スッ

スッ

んっ♡

れり♡

んっ♡

れり♡

『ああッ♡クルッ♡きざやじゅ♡
『きてくれ♡: :
君の特濃精子で
わたしをみたしてえええええ♡』

ドジュビュッ♡ビュッ♡

『すい♡…雪音のいう通り
これでは君の子を孕んでしまうな♡』

『それにしてもこんな量を射精したのに
まだガチガチなんだな♡
わたしはまだできるぞ??どうする??♡』



チュupa♡チュupa♡
「先輩ッ…こいつのチ○ポは
私のなんですから
そんな独り占めなんてするいっすよ♡」

「あたしだってこいつのこと
満足させたいのは一緒なんすから
ちゃんと譲ってくださいよ♡」

「んっ♡しかしだな雪音…
あれだけ射精したのに
こんな元気な竿を
見せられたらついな♡…」

「あたしたち二人相手に
散々出しまくったのにまだ
こんなギンギンなんてな
こうなったら私らが
満足するまでちゃんと
責任とってもらいなッ♡」

あんな

「チュニー♡チュニー♡
「ああ♡せんぱっ
むねっ♡あッ♡」

『あむっ♡ちゅ♡…
雪音の胸は彼とちがつて
すこし甘い感じがするな♡』

「あッ♡…なにこいつと比較しながら
んっ♡味見してるんすかッ」
ズブッ♡ズブッ♡
「胸吸いながらちゅ♡ぽでつかれたらッ
アッ♡…あんなっ♡…」

ズブッ

ズブッ

ズブッ

「ふうー♡ふうー♡
「たしかにお前の胸は甘いというより
すこしじよっぱい感じがするなッ♡」

「雪音に気をとられて…んっ♡
腰が動いてないぞ…もっと強く
力強くわたくしに
腰を叩きつけてくれえ♡」

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

「パンツ♡パンツ♡パンツ♡」
「おっ♡おほっ♡」
「あああ…♡あッ♡」

「まさかこいつが…おッ♡
こんなに性欲魔神だったなんてッ♡」

「さすがに…ここまでとは…あッ♡
もうだめだこれ以上は…んッ♡
あたまがおかしくなるッ♡」

「先輩♡…あたしもうダメッ…
すっごいのくるッ♡きちやう♡」
「私もだ雪音♡…
彼とお前と3人で一緒に
イコラッ♡」



「ああ♡イクッ♡すじいのくるッ♡
きてくれッ♡君の今日一番の性豪精子ッ♡
わたしの子宮めがけて
無責任中出ししてくれえッ……」

「あんッ♡あたしもッ♡イクッ♡…
イクッ♡わたしにも孕ませ精子ッ♡
；子宮に打ち込んでくれえッ♡」



「はあー♡はあー♡
「もうだめだあ♡
「あたまたがクラクラしやがる…」

「君は…明日の予定はあるか？
できれば…眠りしてから
また君の寵愛を受けたいんだが…」

「アッ…ずるいっすよ先輩
こいつは一応私のモノなんっすからね
おま…え…も…
何鼻の下伸ばして頷いてんだよッ」

「わたしもだ♡気持ちよすぎて
自分の体じゃないみたいにかがはいらない」

「へっ…？もちろん最初はわたしから？
わたしが一番って…
べっ…別に嬉しかねえ…よッ♡

このバカあ♡♡

彼女たちの夜は続く…

■あとがき■

この度は「ツバクリラバー」をお手にとっていただき
ありがとうございます。シンフォギアのソシャゲやる
時間をください子安ですw
次回参加イベントは未定ですが、情報などはツイッターで
更新していくので(未定期ですw)よろしくお願いします。
ではまたどこかで……

子安 和

■ 奥付 ■

■ 発行日 : 2017. 08.13

■ 誌名 : ツバクリラバー

■ 著者 : 子安和

■ 発行 : image rider

■ 印刷 : PICO様

■ Email : koyakazu222@gmail.com

■ twitter : @imagerider

■ pixiv id:1304225

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



嗚呼ライダー

for adult only 2017
Image Rider presents